

日本方言研究会

第102回研究発表会

日時：2016年5月13日(金)

場所：学習院大学

学習院創立百周年記念会館

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/access.html>

交通：JR 山手線目白駅下車，徒歩すぐ。

午前の部 9:20 ~ 13:00

9:20- 9:30 開会の辞

【研究発表】

- 9:30-10:20 ビデオカメラの前で話すっちゃ！—映像のなかの方言話者— 櫛引祐希子
- 10:20-11:10 看護学生が知っておいたほうがいいと思う方言—地域別の実態—
工藤千賀子・渡部菜穂子
- 11:20-12:10 ゴンザの新スラヴ日本語辞典日本版(1985)の訳注の問題点
いぬかい いて
- 12:10-13:00 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』から見る
終助詞ガの分布と機能 杉浦滋子

午後の部 13:50 ~ 18:00

- 13:50-14:00 会場校ご挨拶
- 14:00-14:50 沖縄県与那国祖納方言における運動動詞のアスペクト・テンス・ムード
目差尚太
- 14:50-15:40 山形県鶴岡市方言におけるテンスとアスペクト—鶴岡の発展的調査から—
津田智史・阿部貴人・佐藤亮一・水野義道・米田正人・佐藤和之
- 15:40-16:30 談話論からみた長野県松本方言の判断終助詞と通知終助詞 沖 裕子
- 【日本方言研究会創立50周年記念企画報告】
- 16:40-17:50 方言教材の開発と方言教室の開催
方言を介した地域支援活動 松丸真大
久野マリ子
- 17:50-18:00 閉会の辞

18:10-20:00 懇親会：学習院創立百周年記念会館3階小講堂（会費：一般5,000円，学生3,000円）